

あなたの「キモチ」を「ミライ」へ。

遺贈寄付を 日本の動物たちへ 届けよう。



アニドネレガシーギフト 遺贈寄付ガイド



CONTENTS

- 1 はじめに
- 2 法人紹介
- 3 なぜ遺贈寄付が必要なのか
- 4 アニドネレガシーの特徴
- 5 遺言作成
- 6 経験談
- 7 お問い合わせ



日本の犬猫たちの現状をなんとしても変えたくて立ち上げた活動は拡がり続けています。2011年に日本初動物専門寄付サイト「アニドネ」をスタート。その後、寄付支援のみならず、現場で奮闘する動物関連団体への後方活動支援や勉強会開催等を通じた情報支援活動を実施。また人にも動物にも負担が少なく両者が真に共存できる調和した社会を目指して、動物福祉に関する課題やゴールを掲げた提言サイト「AWGs（アニマルウェルフェアゴールズ）」を2021年にスタートしました。法改正を目的とした署名活動やアドボカシー活動にも取り組み始めています。すべての活動は以下を達成するためです。

Vision

人と動物が、命と感情を通じてつながる社会。

Mission

日本の動物福祉を世界トップレベルにして、人々の意識と行動、社会の仕組みを、やさしく変えていく。

日本の現状は、動物福祉先進国と比較すると法規制や人々の動物に向き合う概念にまだ遅れがあるのは事実です。しかし、日本人はとても動物に対してやさしいキモチを持っています。古来より八百万の神々を崇拝してきた民族ならではの動物を尊重し細やかな想いを持てれば、世界トップレベルの動物福祉国家になることは可能だと私は信じています。

そのために動物たちの「ミライ」を変えられるアニドネレガシーギフト（遺贈寄付）を当たり前の文化にし、人と動物のすばらしい共生社会を作っていきたいと心より願っております。





2011

一般社団法人として設立。日本初の動物専門寄付サイトとして2011年に活動開始

2015

公益法人認定。2018年には税額控除対象法人認定。賛助会費は優遇税制対象

2021

公益社団法人の中でも27法人しか認定されていない紺綬褒章認定法人となる

*対象法人数：2024年3月1日時点

現在

動物関連団体では珍しい中間支援組織として動物福祉向上のために活動邁進中

設立 2010年7月27日

団体名 公益社団法人 アニマル・ドネーション

住所 〒107-0062 東京都港区南青山 2丁目15-5

FAR01F

代表者 西平衣里



03-4405-7667（受付時間 平日10:00-17:00）



legacy-gift@animaldonation.org



https://www.animaldonation.org/various_donation/legacy_gift/

遺贈寄付は動物へ贈る感謝のギフト



犬猫への感謝

共に過ごした犬猫との暮らしはとてつもない幸せを人へもたらします。今を懸命に生きる彼らの姿に励まされたことは多かったのではないのでしょうか。遺贈寄付は最期の豊かな選択になり得ます。ミライの犬猫の環境を良くするために遺贈は素敵なギフトです。



老後資金の懸念が不要

寄付文化の発達している欧米でも毎月毎年多額の寄付をする方はそう多くはありません。豊かな老後を過ごしたあと、死後に残った財産から寄付をするのが遺贈寄付です。ですので生前は遺言を書いておくこと以外に特に多くの準備はありません。



節税メリット

遺言書を作成して税額対象の公益法人などに寄付した財産には相続税がかかりません。また所得税も軽減される場合もあり、経済的なメリットが遺された相続人にあります。お子さんや家族からは遺贈を選択したみなさんへ誇りを感じられるでしょう。

動物に特化した活動だから

1頭の犬を保護して譲渡するまで、おおよそ5万円位がかかります。ですので100万円の遺贈をした場合、20頭の命が救えることとなります。遺言は高額でないと、と思いがちですが、その思い込みは必要ありません。寄付用途は「犬の団体を支援したい」や「猫の保護活動を」と希望が叶えられることも特徴です。また入院や万一のときのために遺贈を使って残されたペットの次の家族を探す「ネクストホームレガシー」を生前に作っておくことも可能です。

小額でも
役立つ



必ず動物の
ために
使われる



万が一
遺されるペット
のために



遺言完成までの流れ

1

遺贈する内容を決める

ご自身の財産を整理し遺贈内容や遺贈先、相続人、執行人を確認しましょう。大きく分けて2種類「包括遺贈」と「特定遺贈」があります。

2

公正証書か自筆証書か

おすすめは不備が出にくい公証役場で作成する公正証書遺言です。自筆の場合は法務局の自筆証書遺言書保管制度の利用がよいでしょう。

3

ご家族へ報告

ご自身の意思を先にご家族へお伝えすることをおすすめしております。犬猫好きな家族の方であれば、きっとご理解いただけるでしょう。



4

アニドネへご連絡

「特定遺贈」なのか「包括遺贈」なのか、ご寄付の内容は、などのご連絡を遺言作成前にご連絡いただくことをお願いしております。

5

遺言を完成する

信託銀行や司法書士や弁護士さんに依頼する方法とご自身で作成する方法があります。アニドネで専門化をご紹介することも可能です。

6

アニドネへご連絡

寄付者様の希望をスムーズに叶えるために遺言書の該当部分の共有を御願ひしております。アニドネ遺言確認書で寄付用途をお聞かせください。

遺言 & 付言事項例

遺言書

第1条 遺言者は、遺言者が所有する次の財産について遺言執行者により換価させたいえ、その換価金から換価にかかる諸経費、遺言執行人に対する報酬及び遺言者の債務・負担を控除した残額を公益社団法人アニマル・ドネーション（主たる事務所：東京都港区南青山二丁目15番5号FAROF、以下「アニマル・ドネーション」という。）に遺贈する。

(1) 土地
所在地等

(2) 建物
所在地等

(3) ○○銀行○○支店の遺言者名義の普通預金全部
口座番号等

第2条 遺言者は下記のことを遺言執行者に指定する。
氏名住所など

〈付言事項〉 *遺言者様の御意思に沿う遺言を叶えるために、付言事項に動物への想いや当法人へ伝えたいことを御記載くださることをおすすめいたします。どのように記載するか迷われる場合は、ご相談に応じますのでアニドネへ連絡をください。以下、文例をご紹介します。

【文例①】 寄付使途を一任したい場合
犬との暮らしは私に幸せな時をくれました。未来の犬猫のために役立ててください。使途はアニマル・ドネーションに一任いたします。

【文例②】 特定の活動へ寄付をしたい場合
保護猫と暮らしてきたので猫のために活動する団体さんへ届けてください。

○○○○年○月○日
ご住所 お名前 

▶ [遺言見本書をダウンロードする](#)



アニドネ遺言確認書例

ad animal donation

Codicil 遺言確認書

私は、____年__月__日作成の遺言における、公益社団法人アニマル・ドネーション（主たる事務所：東京都港区南青山二丁目15番5号FAROF）への遺贈による寄付について、ここにその内容をお知らせします。

1. 遺贈する財産をお書きください

2. 遺贈する財産をどのようなことに活かしてほしいか、ご希望をお書きください

【アニドネに寄付使途を一任する場合】
アニマル・ドネーションの公益目的事業運営費に充当する。アニマル・ドネーションが公益目的事業運営費として遺贈を受けた財産について、認定団体等に寄付する場合、寄付先の選定及び寄付額の配分については、アニマル・ドネーションに一任する。

【アニドネ経由で保護団体へ寄付したい場合】
遺贈寄付の15%は、アニマル・ドネーションの公益目的事業運営費に充当する。85%を動物保護団体への寄付とする。

3. 遺言執行者の情報をお書きください

お名前（法人名）：
ご住所：
電話番号：
メールアドレス：

4. 遺言者の情報をお書きください

お名前：
ご住所：
電話番号：
メールアドレス：



▶ [アニドネ遺言確認書をダウンロードする](#)



遺言を書かれた方のインタビュー

トリミングサロンを営むO夫妻

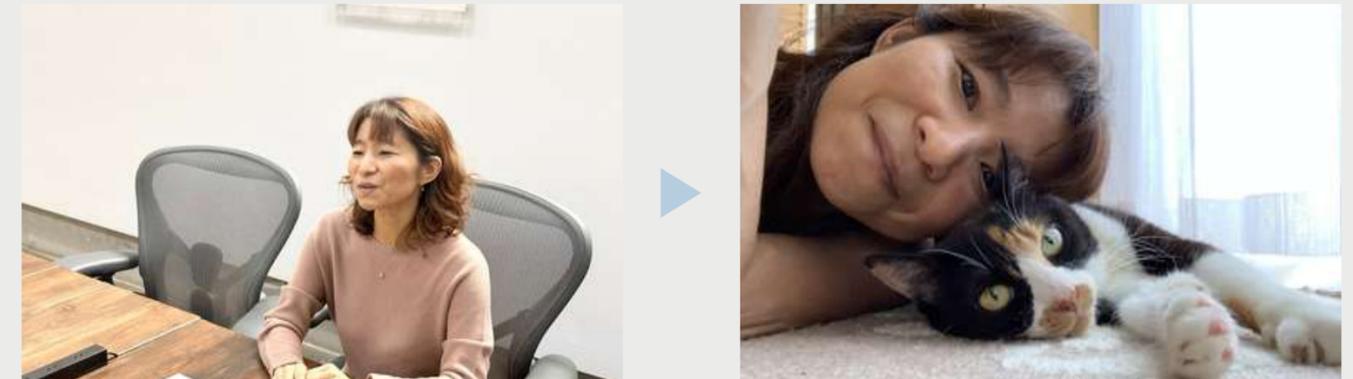


アニドネとのご縁は募金箱

犬と暮らすために住む場所も職業も選んできたO夫妻。ご縁はアニドネの募金箱を設置されたこと。設置から数年経ち、奥様から「犬猫への遺贈をしたいから遺言を書きたい」とお話をいただきました。アニドネから司法書士を紹介し、3年ほどかけて遺言を作成してくださいました。アニドネが開催した遺言作成者向けの「感謝の会」にご参加されました。

[▶インタビュー全文を読む](#)

万が一のため。猫ちゃん2匹のための遺言



これまで9匹の猫と暮らしてきたSさん

「猫が一番大切な生命体。万が一を考えた結論が猫のために遺言を書くことでした。私は今は健康で仕事も趣味も楽しんでいます。主人といろいろなところによく旅行に行くんですよ。もし旅先で2人共事故にでもあったら家で待っている猫達はどうなるんだろうと考えました。」いろいろとネットで探しアニドネにたどり着いたと語るSさんです。

[▶インタビュー全文を読む](#)

まずはフォームへご連絡を



信託銀行・弁護士・司法書士の皆様 遺言希望者様 からのご質問例

- 遺言記載の文言を教えてください
- 受けられる遺言内容を聞きたい
- 包括遺贈の場合のフロー
- 寄付用途をオンラインで直接聞きたい
- アニドネの活動を詳しく知りたい等

さまざまなご質問に応じております。

☎ 03-4405-7667 (受付時間 平日10:00-17:00)

✉ legacy-gift@animaldonation.org

🌐 https://www.animaldonation.org/various_donation/legacy_gift/